

Moe News

おおしま
大島もえと
ニッコリ元気会

みんなの
元気を
応援します。
街が元気!人が元気!あさひが元気!
まちに笑顔!

議会報告・2015年 春号 (Vol.39)

編集発行 〒488-0044 尾張旭市南本地ヶ原町3-35
TEL. & FAX. 0561-52-9511
http://moe-genki.net E-mail: contact@moe-genki.net

尾張旭市議会に送っていただき 12年目となりました。
皆さまから寄せていただける課題に耳を傾け
私なりに歩んできました。
これらの経験は
自分一人では及ばない視点や感性を
いくつも授けてくれました。

そして、もうひとつ
自身も結婚し 3人の子どもを出産しました。
仕事、家庭、子育てを通して
健康でいることの大切さをはじめ
支えられ助けられ
尊重されることのありがたさや大切さも
身をもって経験しました。

これまでの様々な経験を活かして
さらに、人と人が笑顔でつながり合う
あたたかい都市にしたいと
強く思います。

これからも
どうぞよろしく
お願いいたします。
大島もえ

人と人が
笑顔でつながり合う
都市にしたい。



おおしま 大島もえの プロフィール

生まれ ● 1976年6月
略 歴 ● 1995年 名古屋市立名東高等学校 卒業
● 1999年 愛知県立大学 卒業
● 愛知県立大学 嘱託職員
● 元衆議院議員 大島令子 秘書



←本会議
一般質問

- 議 会 ● 2003年4月 尾張旭市議会議員 初当選
- 民生文教常任委員・建設経済常任委員
 - 議会運営委員・市議会だより編集委員
 - 尾張旭市長久手町衛生組合議会議員
- 2007年4月 尾張旭市議会議員 2期目当選
- 民生文教委員会委員長・総務委員会委員長
 - 公立陶生病院組合議会議員
 - 尾張旭市長久手町衛生組合議会議員
- 2011年4月 尾張旭市議会議員 3期目当選
- 総務委員会委員、都市環境委員会委員、福祉文教委員会委員
 - 決算特別委員会委員長
 - 市議会広報委員会委員長
 - 議会のあり方検討会委員、議会報告会実行委員会委員
 - 尾張東部衛生組合議会議長

これまで……

- 小学生時代**
- 書道 ● そろばん ● ピアノ
 - トランペット鼓隊
- 中学・高校生時代**
- 卓球
- 大学生時代・社会人**
- 中日クラブで女子アイスホッケー
 - 名市大オーケストラでオーボエ担当
 - ピースボートに乗りアジア一周クルーズ(戦争の歴史を持つアジアの貧困を目の当たりに)
 - 和太鼓



←ベトナムにて



たくさんの人に出逢い
たくさんの元気をいただきました。

駅頭ごあいさつ

通勤通学の皆さまに笑顔で「いってらっしゃい!」みんなの元気を応援しています。

千羽鶴プロジェクト

一折一折に込められた平和への願い。地域の皆さんに折っていただいた、3万羽の折り鶴を、8月6日広島市の平和公園へ奉納してきました。



市としても、H23年に非核平和都市宣言をし、新事業として、中学生の代表団がヒロシマへ千羽鶴の奉納に行きました。平和活動が形になりました。

アジア・アフリカ支援米

食料不足に苦しむアジア・アフリカ支援米の作付け作業に参加しました。

虹のハシ元気会

身近なことからエコ活動。マイ箸を広める活動をしています。活動を通して植樹にも貢献しました。

ピンポン元気会

毎月1回ふれあい健康づくりのために行いました。

この他、様々な活動に参加してきました。



校区もちつき大会▶

- 九条の会・尾張旭
- ふらっとボランティア
- 尾張旭ローカルヒーロープロジェクト「森羅特装シュラバスター」
- ラブアース尾張旭
- 卓球「こたまクラブ」

- 校区の様々なふれあい行事**
- ◎ 盆踊り大会
 - ◎ 秋まつり
 - ◎ 敬老ふれあい行事
 - ◎ ふれあい運動会
 - ◎ 防災訓練
 - ◎ もちつき大会 など



育児に奮闘中▶



▲団体戦で優勝



←特産いちじく収穫祭

「大島もえとニッコリ元気会」規約(抜粋)

名称: 大島もえとニッコリ元気会
目的: 大島もえの政治活動を支援し、住みよい社会づくりを目的とします。
事業: 大島もえを囲む講演会・研修会の開催、会報の発行、その他必要な事業を行います。
会員: この会の目的に賛同する個人・団体は、自由に加入できます。

カンパ 郵便振替口座:00870-4-130001
寄付 名称:大島もえとニッコリ元気会



街で見かけたら
手をふって
ください。

おおしま
大島もえと
ニッコリ元気会

●お申し込み・お問い合わせ
〒488-0044 愛知県尾張旭市南本地ヶ原町3-35
TEL & FAX 0561-52-9511
<http://moe-genki.net>
E-mail:contact@moe-genki.net

部内資料

＊くらしや心を元気に。

そして、政治を身近に。

＊尾張旭を元気なまちに変えてゆきたい。

＊人と人が笑顔でつながり合う都市にしたい。

私はいつも、こう考えて活動をしています。

笑顔でつながり合うために

活動を通じて、少しでもカタチになった事で
また次の笑顔につなげていきたい……

ゆったりスペースの設置

市役所入口付近にある「障害者用駐車場」のような、法で定められた優先的な駐車場ではありませんが、『子育て世代にも利用しやすい市役所駐車場の区画について』を提案させていただいた結果、尾張旭基準で「ゆったりスペース」が設置されました。



お子様連れの来庁者にとっては、ベビーカーやチャイルドシートからの乗せ降ろしのために、ドアを大きめに開けるスペースのある区画、雨の日には乗り降りときの屋根も必要という提案でした。
設置されてからは、子育て世代のみならず高齢者の方などにも、喜んでお使いいただけるようになりました。

公共施設トイレのお子様対応

トイレトレーニング期の幼児のための小さなトイレ便座や、土足で利用する個室での着脱時に助かる着せ替え台などを、公共施設への設置を広げるとともに、設置されていることをトイレの入り口へ掲示することで、利用促進につなげていく提案をしています。
※写真は保健福祉センターのトイレです。最近建設された多世代交流館「いきいき」には標準設置されました。



女子トイレ

男子トイレ

横断歩道の設置

以前は立ち入り禁止の池だった新池に公共施設ができ、多くの市民が道路を渡る様になりました。
市民の安全な移動のために、地域の皆さんの要望書を市および守山署へ提出し、横断歩道の設置が実現しました。



このような配慮が、より多くの公共施設に広がり、多世代のニーズに添えていけるように、引き続き取り組んでまいります。これからも応援の程、宜しくお願いします。

大島もえ



みんなの元気を
応援します。

人に笑顔

必要な時に、あたりまえに受けられる医療・介護・保健・子育て支援サービスを充実することで、安心と笑顔の都市(まち)づくりに取り組みます。

●国民健康保険税の減税

大きな病院が複数立地し、取り巻く各種医療機関も充実している尾張旭は、安心という強みを引き換えに医療費は上昇する一途です。適正受診やシエネリック医薬品の利用促進など、節税の具体策と共に、予防接種や各種検診の普及による予防の側面にも財政投資をするなど、長期的な視点での安定的財政運営について提案しています。

●産前産後のケアサポート体制の確立

旭平和墓園に納骨堂の新設について
文化スポーツ施設の再編について



子どもに輝き

子ども達の生きる力を育み自信をもって自立へ踏み出せるように都市(まち)づくりの中で愛情を注いでいきます。

●保育園、放課後児童クラブの拡充

共働き世帯のための待機児童解消や時間延長と共に、片働き世帯の子育て支援のためにも一時保育が利用できるようなするなど、核家族化の現代における多様なライフスタイルに対応できるライフラインとしての保育のあり方について提案しています。また、保育士さん不足の現状改善のため、待遇改善についても提案しています。

●保育園・小・中学校のトイレ

改修や空調設備について
給食の安全や食育について
誕生から就園・就学を一貫した発達や育児支援の連携について

●子ども達の生き抜く力を育む職業体験学習について



多様な生き方の尊重

人生は、結婚・出産・仕事・ボランティア…節目節目に選択肢も多様です。男女・世代などを隔てることなくどんな立場にある人にも快適であるように都市(まち)づくりの中に包容力を発揮していきたいと思っています。

●公共施設の多世代化

昼間人口である高齢社会と子育て世代のベストミックスを大切にし、施設に備えるべき機能について提案しています。

●パパママ教室の改善

「パパ」「ママ」という役割に縛られず、「保護者」として、社会と家庭の二員としてチームワークしていけるよう、ひとつひとつの事業を点検し、改善や提案を続けていきます。

●男女共同参画の具体化について

住んで安心

「おはよう。こんにちは。」「お元氣ですか。ありがとう。」「いざという時、寄り添い、支え合える地域のつながりを大切にします。」

●地域コミュニティの活動に、まず、参加

町内会、自治会、社会福祉協議会等が取り組む自主防災や自主防犯をはじめ、地域の人とふれあう行事や子育てサロンなど様々な取り組みに参加させていただくことで、そこで得た「気付き」を市への提案とし、改善されていくように取り組んでいます。(防災備品のきめ細やかな目配りや避難誘導の分かりやすい明示方法、橋梁の耐震化などが改善されています。)

自然を大切に暮らす

市域の6分の1を占めるほどの大自然、森林公園や中央を流れる矢田川、広がる田園風景…とそこに憩う生物たち。さらに、食と農に親しめる市民農園など、暮らしのそばにある自然と共に空間価値の高い都市(まち)づくりに取り組めます。

●公共施設のエネルギー替えを提案

省エネは脱原発依存の後押しに不可欠です。公共施設の大規模な電力消費の抑制は自然にも財政にも優しい提案です。照明器具・空調機器のエネルギー電力購入先の切り替え、太陽光発電への公共施設の屋根貸し事業など、提案が具体化し始めています。

●資源ごみの分別促進について提案

※プラごみの毎週回収やガススプレー缶などの危険ごみの分別回収にも試験導入などが始まります。

●子ども用品などリユース品(再利用品)の循環するしくみについて

●荒廃地の市民農園の貸し出しなどへの有効利用



身近な市役所

サービスの向上と共に、より開かれた市役所にしようという取り組みが、いま重ねられています。安心して暮らしやすさを実感できる都市(まち)づくりに取り組めます。

●全体で取り組むための「チーム市役所」

各部署の枠を超えて「チーム市役所」として取り組めるように市の施策を現場レベルで体現していくための具体策を提案しています。

●プライベートな手続きに

対応できる受付カウンターや個別の仕切りについて
※いよいよ予算化されました。

見える・届く・変わる議会

関わりやすい議会を実現し透明性の高い政策決定により市議会二丸となり資質向上すること市民の代弁者としての役割を果たしていきます。

●想いが届き、変わる実感を

インターネット中継も実現しましたが、更に傍聴席が満席になる様な白熱した議論により市民の声が市政に直接届くように共感力と傾聴行動力も磨いていきます。

